

トップページ

HOME » トップページ » 2012年度 » 2012年12月11日

2012年12月11日

トピックス

*写真はクリックすると拡大します



イチョウが葉落してきました。そしてイロハモジも紅葉してきました。このところ急激に寒さが増し、しかも晴天の日が多いことから、紅葉が今年は鮮やかなようです。やがて、本丸丸便横のイロハモジが見事に色を染め上げてくれるでしょう。

いよいよキャンパスは冬の訪れを前に紅葉に彩られ、晩秋の輝きに覆われていきます。

写真・文:佐藤征男

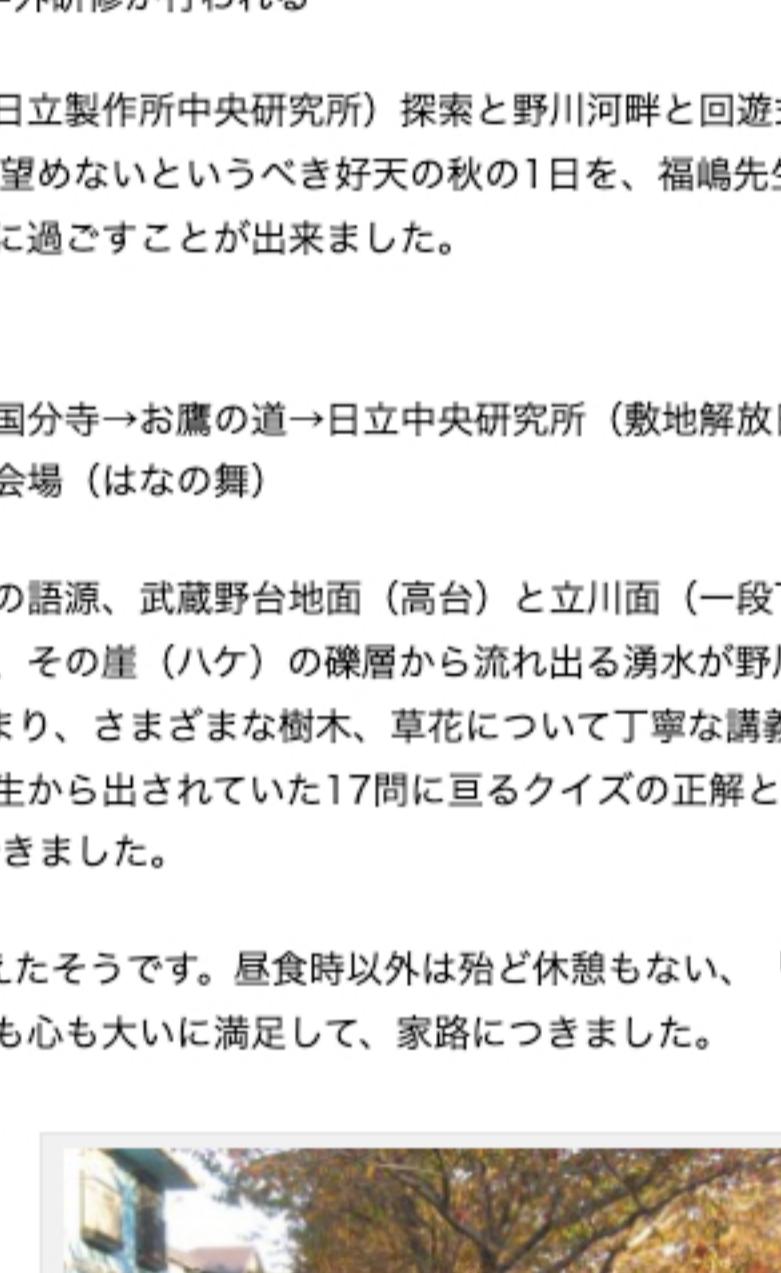
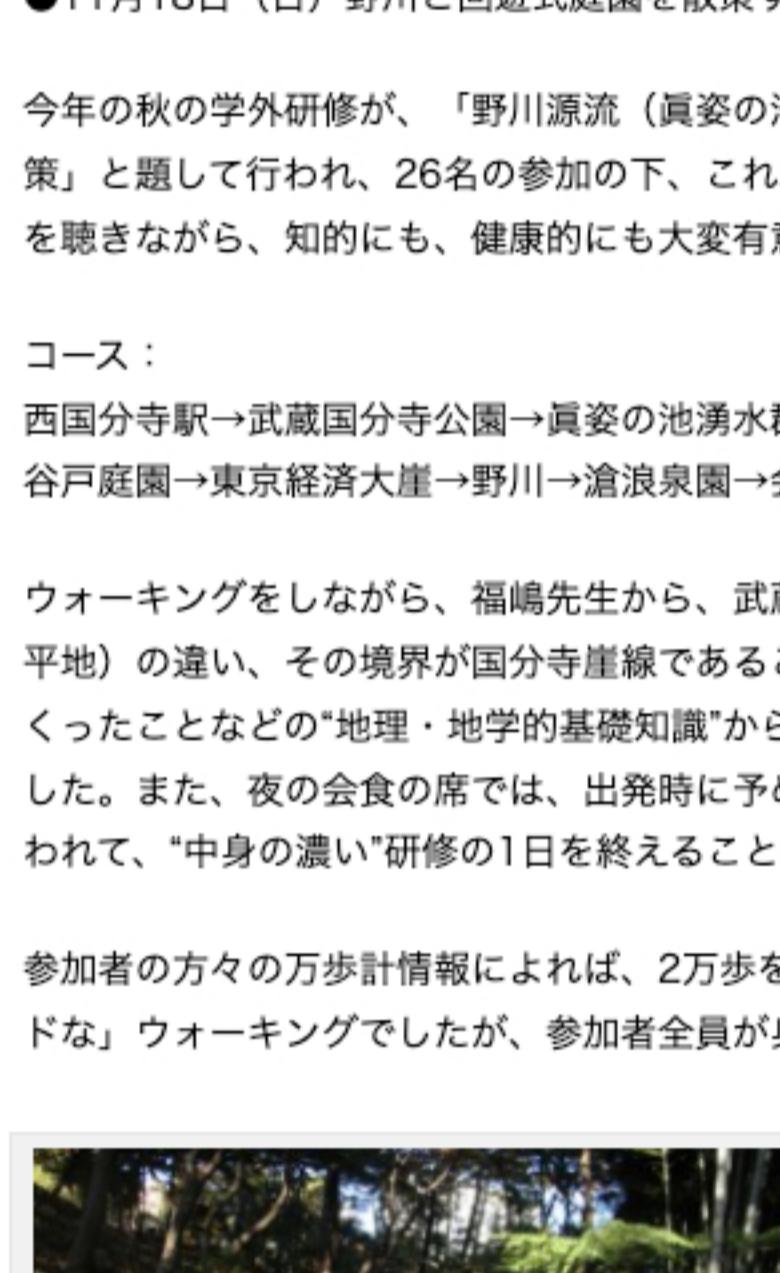
What's New

●11月16日(金) 第113回定期作業

秋のやわらかな日差しの中、西キャンパス正門からすぐのイチョウの木3本が見事に黄金色に輝いていました。これからキャンパス内の紅葉が見どころとなりそうです。

今回の作業は?ススキのゾーン(第1、第2)の除草作業、?経済研究所南側の除草・植栽手入れ、?自然薯掘り、学生植栽ゾーンなどでした。

参加者は福嶋顧問、教職員5名、O B45名、学生87名の計138名となりました。ここところ学生の参加が増え、嬉しい結果になりました。



ススキの第2ゾーン作業中

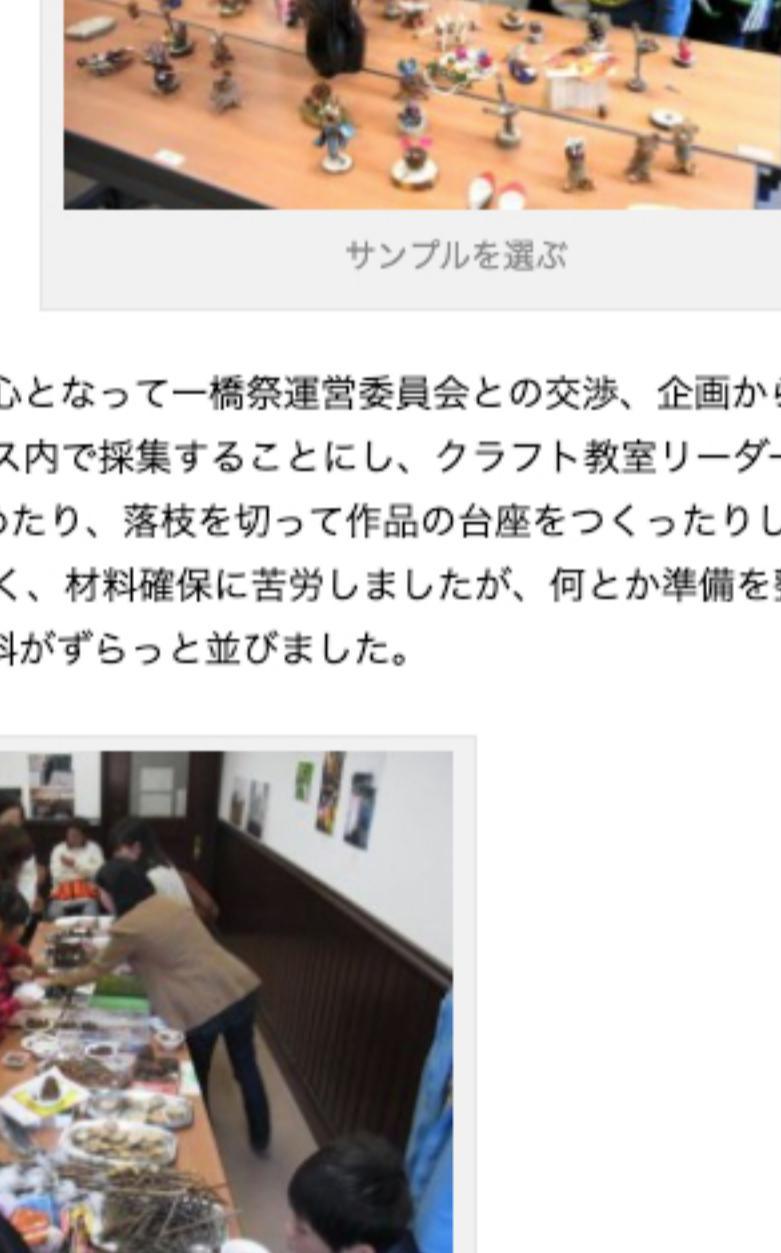
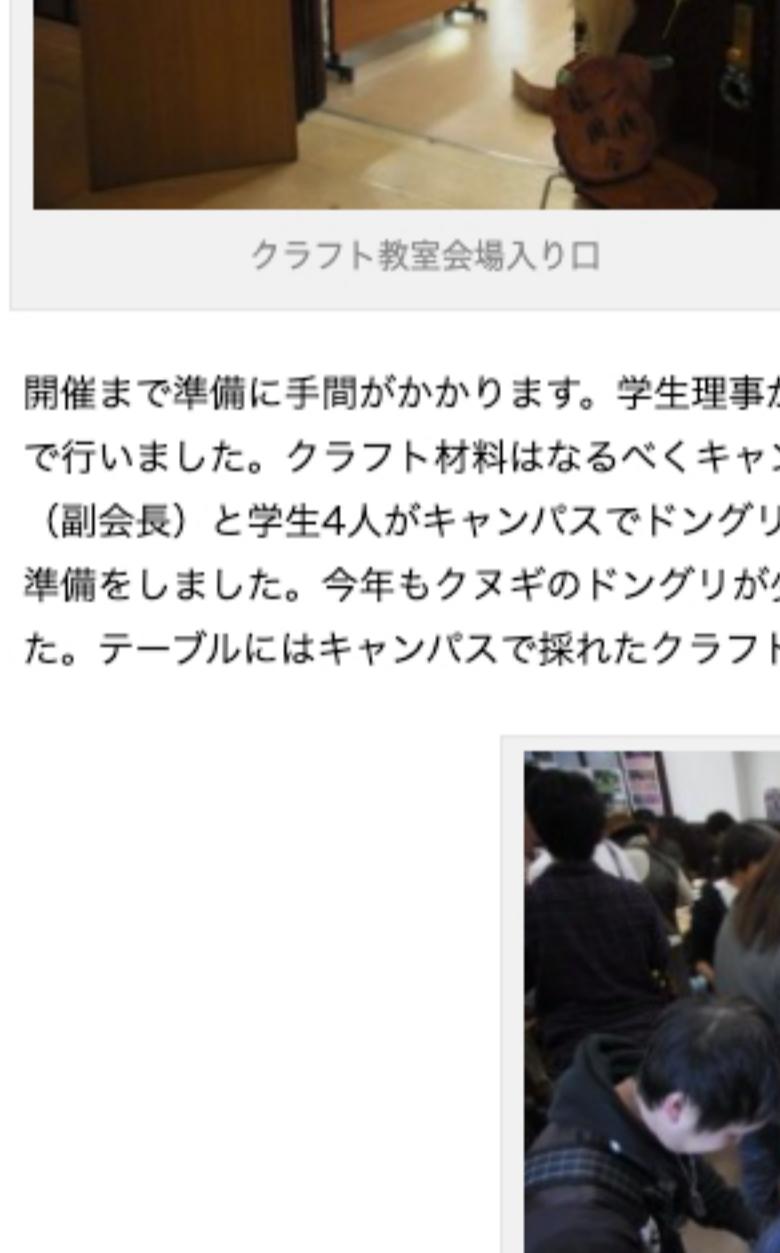
経済研究所南側作業中

作業には快適な気温でしたが、日が短くなったため午後3時半を目安に作業し、後は片付けに回しました。予定通り作業は完了し、作業後の交流会となりました。今回の交流会は恒例の自然薯パーティーでした。

詳しくは[こちら](#)

●自然薯パーティー

毎年11月の定期作業の終了後はキャンパス内に生じている自然薯を掘り出し、参加者で賞味しています。今年も学生を主体としたグループを組み、顧問の福嶋先生のもと、ハンドボール場の周辺であらかじめ印をつけておいた自然薯のツルを頼りに1メートル以上スコップを使い掘り出しますが、かなりの重労働です。



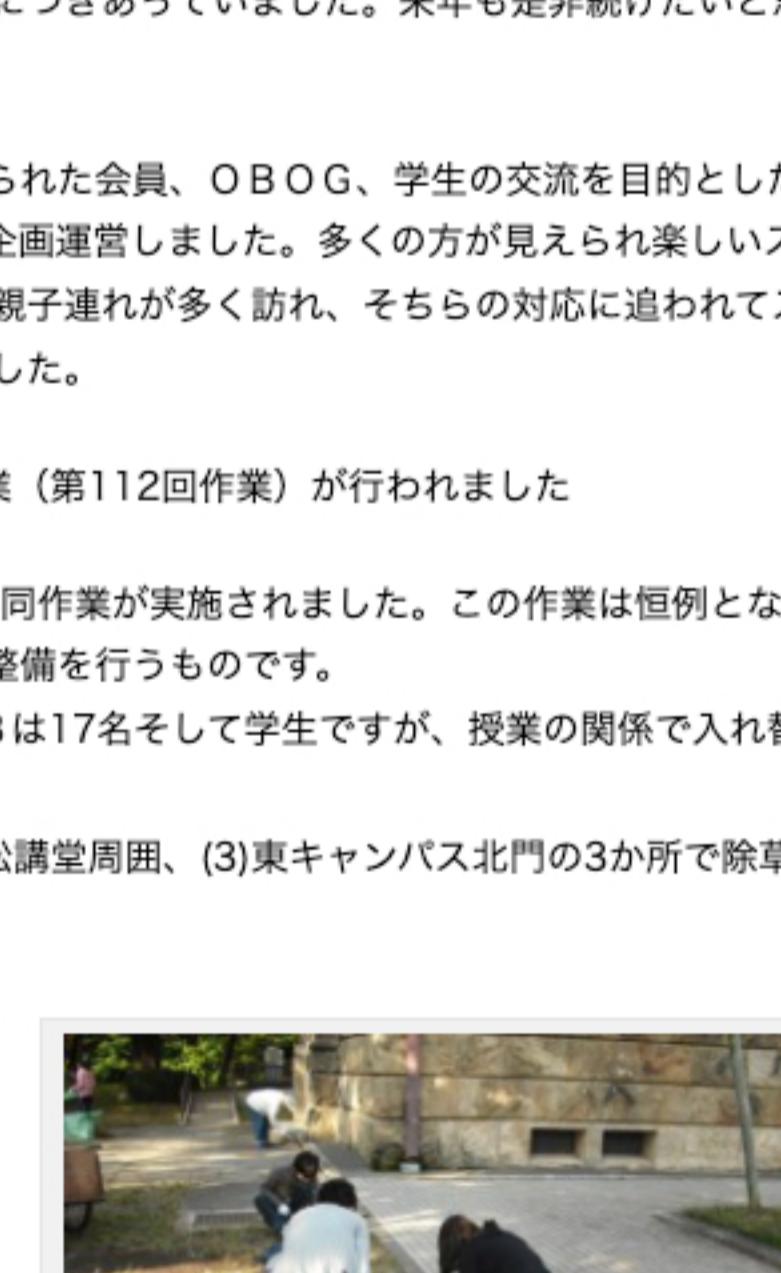
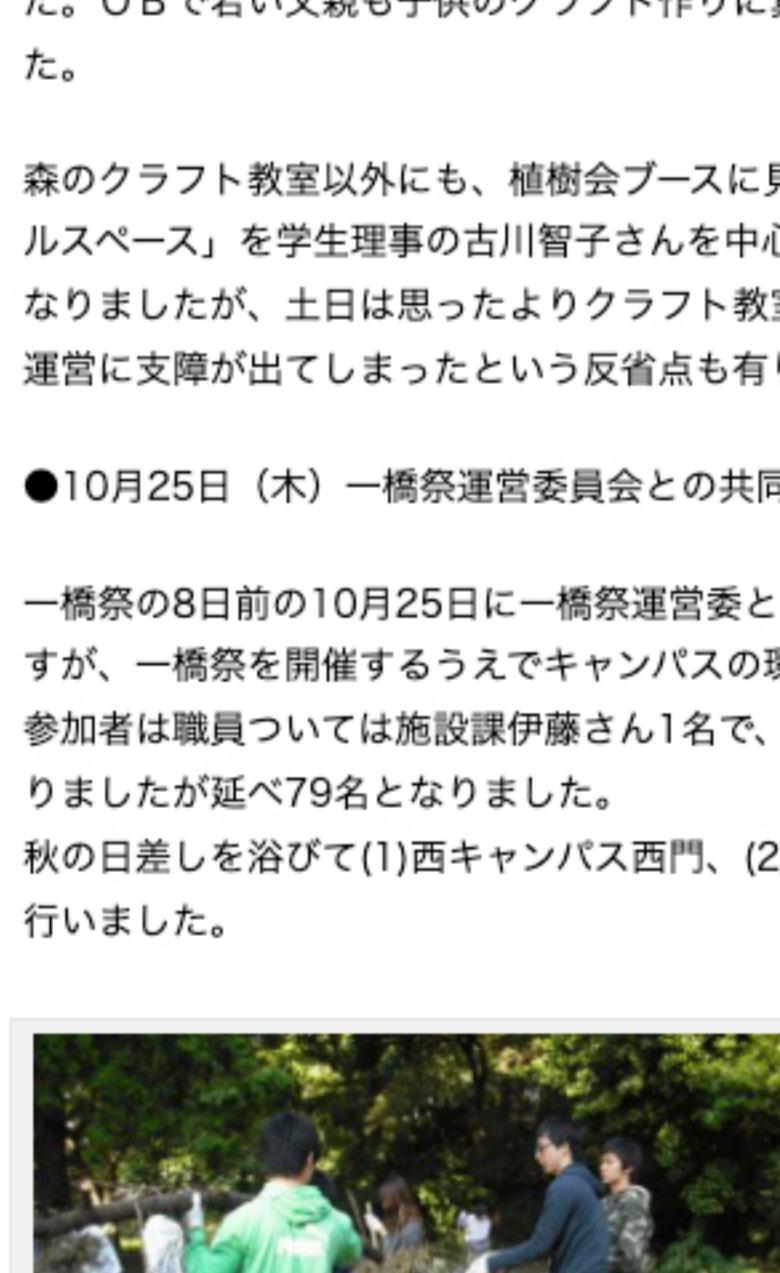
掘り出している最中

掘り出した自然薯

今回自然薯に初参加したKODAIRA祭実行委員で商学部1年の林 美伶さんに体験談を寄せいただきました。

内容は[こちら](#)

掘り出した自然薯は足りないので購入した自然薯とともにご婦人方を主体に学生理事も参加しておらず、大部分はマグロのぶつ切りにかけて「やまかに」しました。



やまかにになった自然薯

自然薯を調理したご婦人方

●11月18日(日) 野川と回遊式庭園を散策する学外研修が行われる

今年の秋の学外研修が、「野川源流(眞姿の池&日立製作所中央研究所)探索と野川河畔と回遊式庭園散策」と題して行われ、26名の参加の下、これ以上望めないというべき好天の秋の1日を、福嶋先生の講義を聴きながら、知的にも、健康的にも大変有意義に過ごすことが出来ました。

コース:

西国分寺駅→武蔵国分寺公園→眞姿の池湧水群→国分寺→お鷹の道→日立中央研究所(敷地解放日) 殿ヶ谷戸庭園→東京経済大学→野川→滻浪泉園→会食会場(はなの舞)

ウォーキングをしながら、福嶋先生から、武蔵野の語源、武蔵野台地面(高台)と立川面(一段下がった平地)の違い、その境界が国分寺崖線であること、その崖(ハケ)の縦断面から流れ出る湧水が野川を形づくったことなどの地理・地学的基本知識から始まり、さまざまな木々、草花について丁寧な講義を受けました。また、夜の会食の席では、出発時に予め先生から出されていた17問に亘るクイズの正解と解説も行われて、"中身の濃い"研修の1日を終えることができました。

参加者の方々の万歩計情報によれば、2万歩を超えたそうです。昼食以外は殆ど休憩もない、「ややハーハー」ウォーキングでしたが、参加者全員が身体も心も大いに満足して、家路につきました。



殿ヶ谷戸庭園にて

野川沿いで

今回学外研修に参加した学生理事の田島壮一郎さんから研修の感想文をいただきました。

内容は[こちら](#)

●11月2日、3日、4日の第43回一橋祭に参加しました

11月2日から3日間開催された一橋祭に、植樹会は昨年に引き続き参加しました。今年で6年目になりました。期間中は「森のクラフト教室」を楽しみにしていた多数の親子連れを中心に賑わいました。一橋祭の「名物出展」となった感があります。

植樹会のブースは西本館の教室。植樹会活動紹介のパネルなどの展示を行い、植樹会活動の紹介に努めました。

また、展示室の中央にはキャンパスの草花を生けました。そのテーブルには作品のサンプルが並んでいます。入場者はサンプルを参考にクラフトを作りますが、もちろん何を作ってもかまいません。



クラフト教室会場入り口

サンプルを選ぶ

開催まで準備に手間がかかります。学生理事が中心となって一橋祭運営委員会との交渉、企画から運営まで行いました。クラフト材料はなるべくキャンパス内で集めることにし、クラフト教室リーダーの佐藤(副会長)と学生4人がキャンパスでドングリ集めたり、落枝を切って作品の台座をつくったりして、事前準備をしました。今年もクヌギのドングリが少なく、材料確保に苦労しましたが、何とか準備を整えました。テーブルにはキャンパスで採れたクラフト材料がずらっと並びました。

キャンパスで採集された材料が並ぶ

【優秀作品】保坂貞司さんの作品

今年の一橋祭はノンアルコールの大学祭となり、マスコミでも報道されました。それでも例年のような大変な盛り上がりをみせていました。

販賣会場

学生もクラフトの講師

作業は時間一杯かかりましたが、周辺は綺麗になり駐輪場の整備などが完成しました。その後の交流会では学生とO Bの席を分けて、学生は飲酒しないよう配慮しました。

詳しくは[こちら](#)

●11月2日、3日、4日の第43回一橋祭に参加しました

11月2日から3日間開催された一橋祭に、植樹会は昨年に引き続き参加しました。今年で6年目になりました。期間中は「森のクラフト教室」を楽しみにしていた多数の親子連れを中心に賑わいました。一橋祭の「名物出展」となった感があります。

植樹会のブースは西本館の教室。植樹会活動紹介のパネルなどの展示を行い、植樹会活動の紹介に努めました。

また、展示室の中央にはキャンパスの草花を生けました。そのテーブルには作品のサンプルが並んでいます。入場者はサンプルを参考にクラフトを作りますが、もちろん何を作ってもかまいません。

クラフト教室会場入り口

サンプルを選ぶ

開催まで準備に手間がかかります。学生理事が中心となって一橋祭運営委員会との交渉、企画から運営まで行いました。クラフト材料はなるべくキャンパス内で集めることにし、クラフト教室リーダーの佐藤(副会長)と学生4人がキャンパスでドングリ集めたり、落枝を切って作品の台座をつくったりして、事前準備をしました。今年もクヌギのドングリが少なく、材料確保に苦労しましたが、何とか準備を整えました。テーブルにはキャンパスで採れたクラフト材料がずらっと並びました。

キャンパスで採集された材料が並ぶ

【優秀作品】保坂貞司さんの作品

今年の一橋祭はノンアルコールの大学祭となり、マスコミでも報道されました。それでも例年のような大変な盛り上がりをみせていました。

販賣会場

学生もクラフトの講師

作業は時間一杯かかりましたが、周辺は綺麗になり駐輪場の整備などが完成しました。その後の交流会では学生とO Bの席を分けて、学生は飲酒しないよう配慮しました。

詳しくは[こちら](#)

●10月新規登録会員

10月もOB39名、教職員3名、団体登録1名の計43名にご入会頂きました。ご支援有難うございます。今後とも宜しくお願い致します。

会員の詳細は[こちら](#)

尚、入会に関しましては、会員登録は[こちら](#)をクリックしていただき、必要事項記入の上、支払方法「如水会DCカード口座よりの自動引落し」を選択し、「登録」ボタンを押していただければ、すぐに会員として登録されます。

学生班で審査の結果、優秀作品は経済学部2年の西山大貴さんの書いた絵に決まりました。また、O Bの浅野弘さんと旗野友夫さんの絵と保坂貞司さんの写真が優秀作品に決まりました。それぞれの作品は次の通りです。

クラフト教室会場入り口

サンプルを選ぶ

開催まで準備に手間がかかります。学生理事が中心となって一橋祭運営委員会との交渉、企画から運営まで行いました。クラフト材料はなるべくキャンパス内で集めることにし、クラフト教室リーダーの佐藤(副会長)と学生4人がキャンパスでドングリ集めたり、落枝を切って作品の台座をつくったりして、事前準備をしました。今年もクヌギのドングリが少なく、材料確保に苦労しましたが、何とか準備を整えました。テーブルにはキャンパスで採れたクラフト材料がずらっと並びました。

キャンパスで採集された材料が並ぶ

【優秀作品】保坂貞司さんの作品

今年の一橋祭はノンアルコールの大学祭となり、マスコミでも報道されました。それでも例年のような大変な盛り上がりをみせていました。

販賣会場

学生もクラフトの講師

作業は時間一杯かかりましたが、周辺は綺麗になり駐輪場の整備などが完成しました。その後の交流会では学生とO Bの席を分けて、学生は飲酒しないよう配慮しました。

詳しくは[こちら](#)

●10月25日(木) 一橋祭運営委員会との共同作業(第112回作業)が行われました

一橋祭の8日前の10月25日に一橋祭運営委員会との共同作業が実施されました。この作業は恒例となっていますが、一橋祭を開催するうえでキャンパスの環境整備を行うものです。

参加者は職員ついで施設課伊藤さん1名、O Bは17名そして学生ですが、授業の関係で入れ替わりがありました。延べ79名となりました。

秋の日差しを浴びて(1)西キャンパス西門、(2)兼松講堂周囲、(3)東キャンパス北門の3か所で除草や清掃を行いました。

西キャンパス西門での作業

兼松講堂周囲での作業

作業は時間一杯かかりましたが、周辺は綺麗になり駐輪場の整備などが完成しました。その後の交流会では学生とO Bの席を分けて、学生は飲酒しないよう配慮しました。

詳しくは[こちら](#)

●11月2日、3日、4日の第43回一橋祭に参加しました

11月2日から3日間開催された一橋祭に、植樹会は昨年に引き続き参加しました。今年で6年目になりました。期間中は「森のクラフト教室」を楽しみにしていた多数の親子連れを中心に賑わいました。一橋祭の「名物出展」となった感あります。

植樹会のブースは西本館の教室。植樹会活動紹介のパネルなどの展示を行い、植樹会活動の紹介に努めました。

また、展示室の中央にはキャンパスの草花を生けました。そのテーブルには作品のサンプルが並んでいます。入場者はサンプルを参考にクラフトを作りますが、もちろん何を作ってもかまいません。